

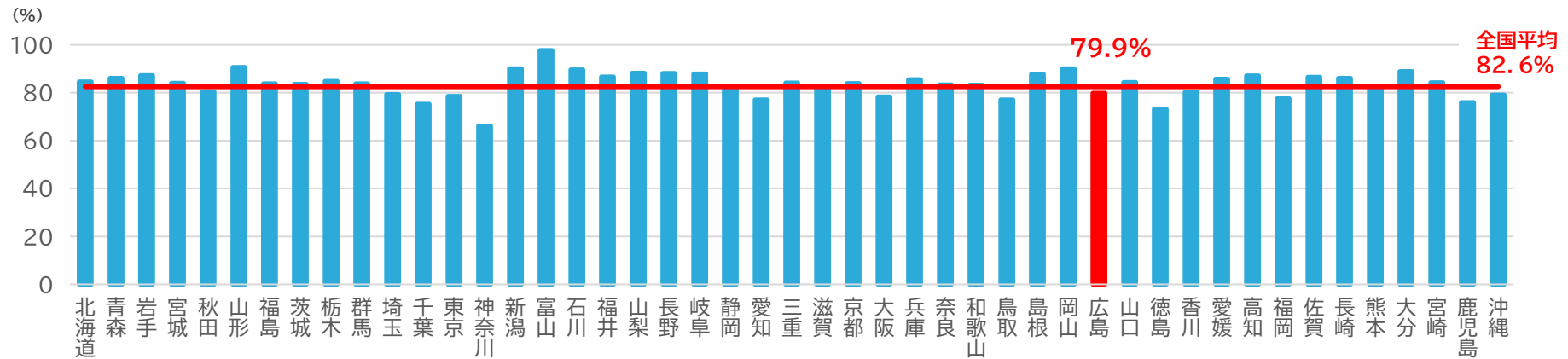
支部戦略プラン（支部健康づくり戦略）策定及び 令和9年度事業方針に係る意見聴取について（参考）



令和8年10月21日
全国健康保険協会広島支部

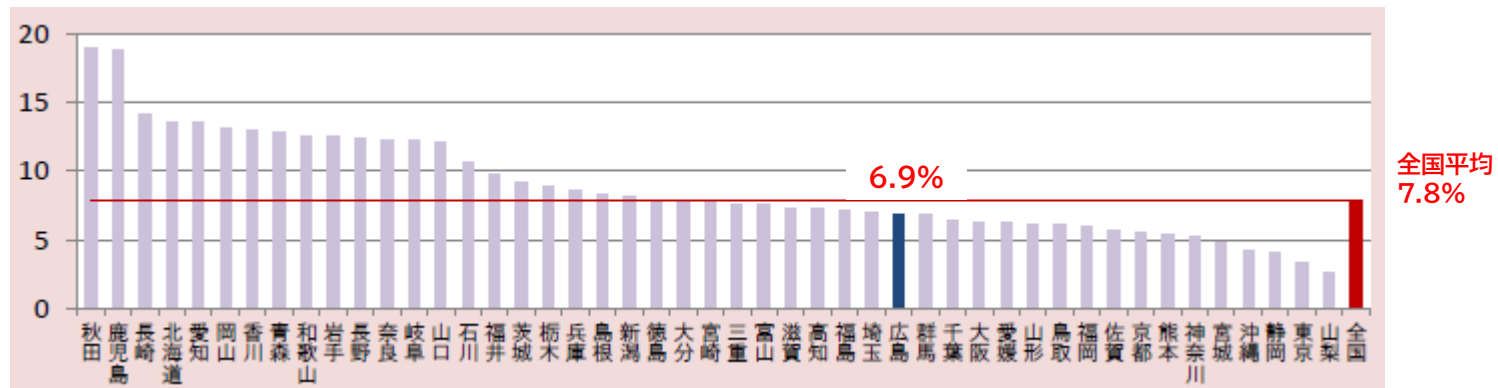
健康課題1：健診実施率が低い

【宣言事業所】 健診実施率（令和6年度／40歳以上／被保険者）



出典：令和8年度第1回健康づくり推進協議会「広島支部」

【事業者健診データ取得率】 令和7年度 全支部のデータ取得率と全国平均



出典：2025年度支部別スコアリングレポート「広島支部」

健康課題1：健診実施率が低い

●生活習慣病予防健診の実施率向上のための取組状況

取組名	概要	令和7年度	令和8年度の状況
生活習慣病予防健診の委託契約	健診機関と生活習慣病予防健診の委託契約を締結し、施設等で健診を実施。	88機関	94機関 ※更なる拡大に向け取組中
公共施設や商業施設での集団健診	自宅近くの公共施設や商業施設で集団健診を実施することで健診受診の動機付けとする。	38会場で開催 773人が受診	51会場を予定
事業所に対する文書・電話勧奨	①健診機関からの勧奨 ②県と連携した訪問勧奨 ③委託による文書及び電話勧奨	①6月以降、年間を通じて実施 ②延べ431事業所 ③文書27,237事業所 電話8,000事業所	【予定】 ①廃止 ②継続実施 ③文書3,000事業所 電話7,000事業所
被保険者個人に対する勧奨	過去に利用率が低い事業所の加入者に対し、被保険者個人に対して文書勧奨を実施。	156,102件送付 14,812人(9.5%)が受診	160,000人の送付を予定

●事業者健診データの取得率向上のための取組状況

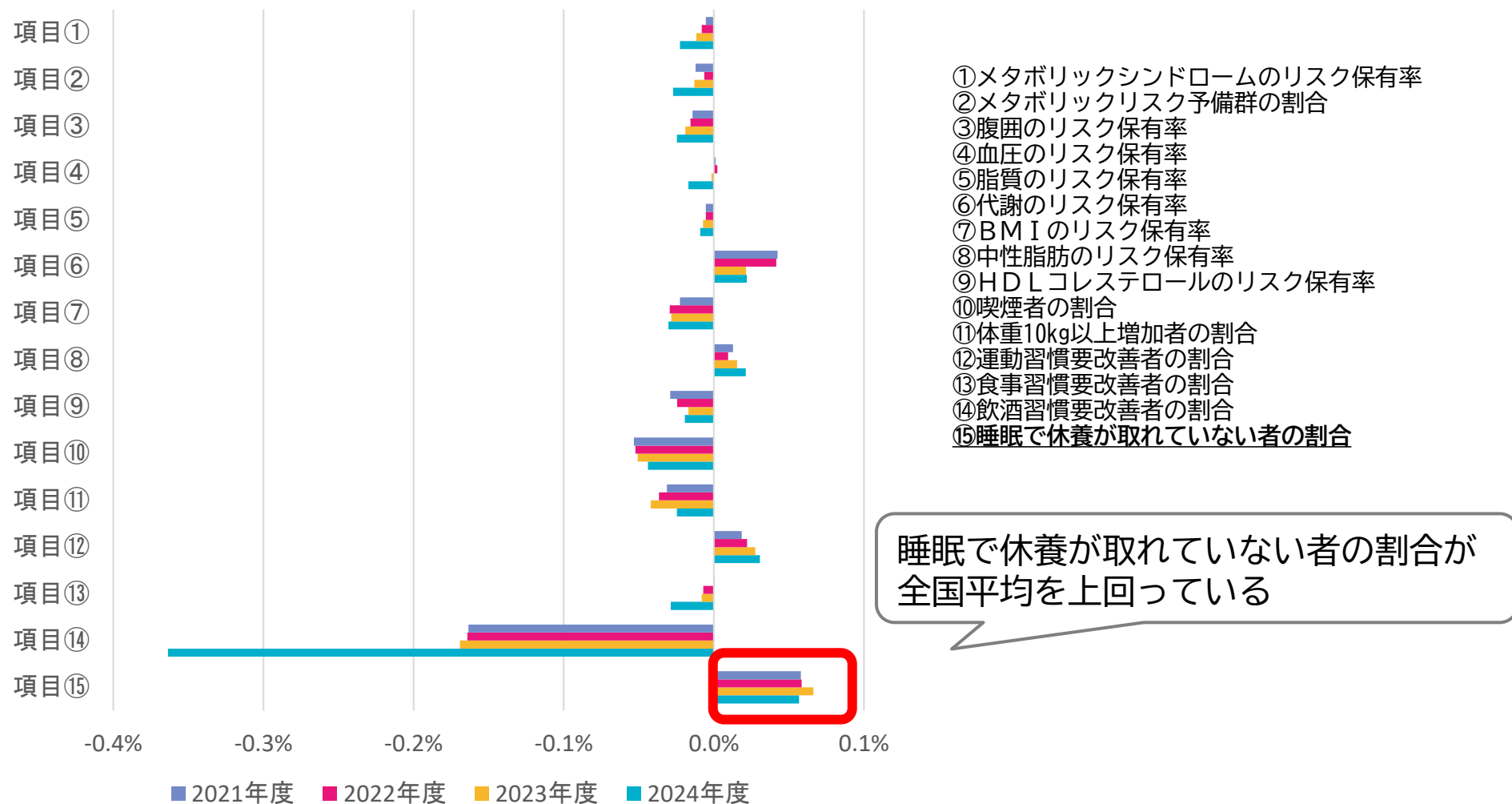
取組名	概要	令和7年度	令和8年度の状況
健診機関とデータ提供の契約を締結	自機関で事業者健診を実施したデータを広島支部に提供する。 ※データ提供には事業所が提出する「提供依頼書」が必要となる。	63機関	65機関
職員による事業所への提供勧奨	健診実施率の低い事業所に対して、トップセールスでのデータ提供勧奨等を実施	10事業所	継続実施
事業所に対する健診結果データや提供依頼書の提出勧奨	事業所に対する文書及び電話勧奨を委託実施 ①広島県・労働局・広島支部による三者連名文書勧奨 ②委託により実施	①3,000事業所 ②6,116事業所	継続実施

【受領データの欠損項目対策】(令和7年度新規事業)

労働局と連携し、労働安全衛生法により規定されている「健康診断個人票」の内容に、特定健診の必須項目である採血時間や喫煙歴・問診歴を追加した個人票を作成(4～9月)

健康課題2：健診時の問診結果において、睡眠で休養が取れていない方の割合が高い

《項目①～⑮は、地域差指数-1で表示》



健康課題2：健診時の問診結果において、睡眠で休養が取れていない方の割合が高い

●メンタルヘルス対策に関する取組状況

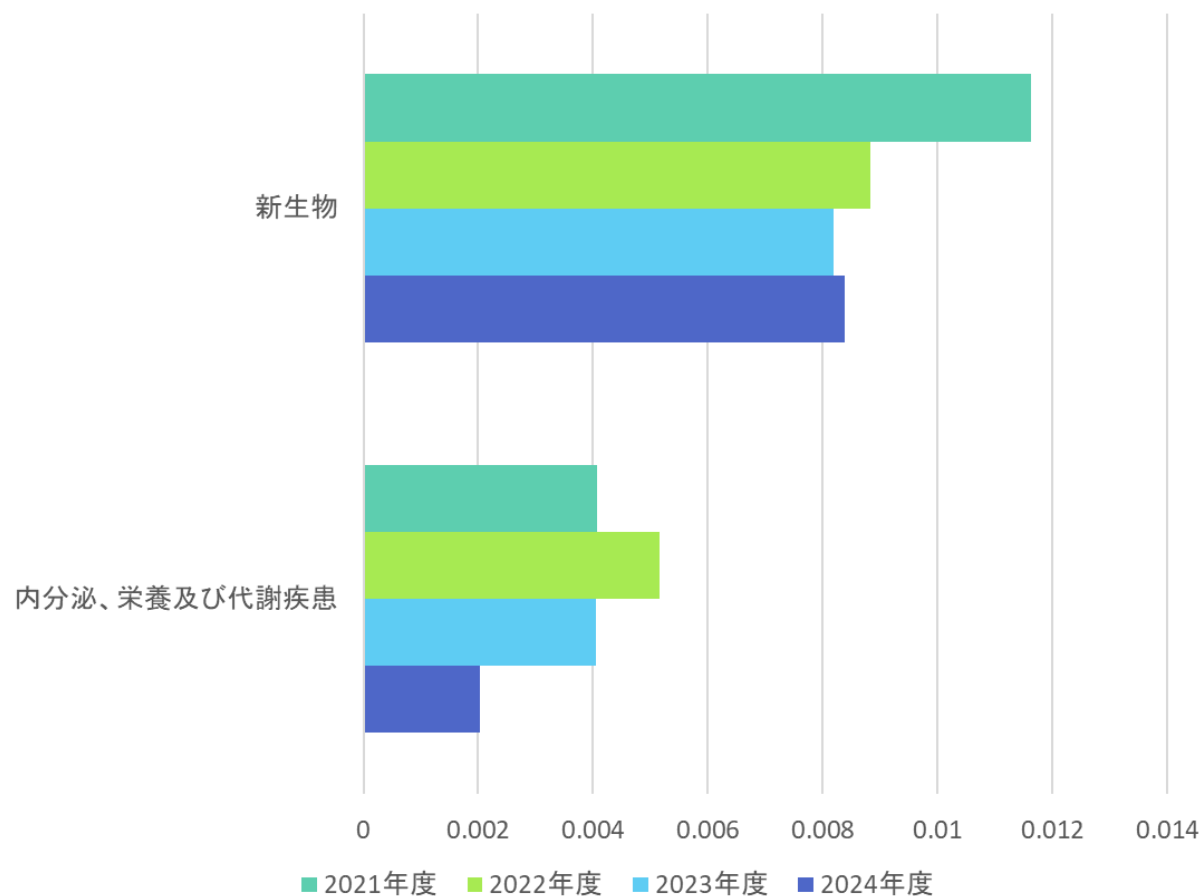
取組名	概要	令和7年度	令和8年度の状況
メンタルヘルスセミナーの開催	睡眠を含む生活習慣の改善に向けた課題を解決するため、睡眠改善及びメンタル系疾患の発生予防を目的に開催	【内容】 睡眠不足の影響、ストレスとは、ラインケア、ストレスチェックなど 【参加者数】 (会場) 49名 (Zoomウェビナー) 181名	継続実施 事業主及び事業所の健康づくり担当者が主に参加できるよう、総合イベント型(パネル展示や健康測定機器想定等含む)とする。(予定)
事業所向けメンタルヘルス対策広報	広島支部の健康課題や休職状況(傷病手当金の受給者)や、生活習慣等の関連性に医学的な知見等を踏まえ、医師等の医療従事者による監修等を用いた、睡眠およびメンタルヘルス対策のリーフレット等を発行	—	新規事業

●過去の取組

取組名	概要
睡眠に関するWebアンケート実施(令和6年度)	加入者(15,000名)を対象にアンケートを実施し、1,092名から回答を得た。
睡眠を含む生活習慣要改善者への通知及び睡眠改善セミナーの開催(令和5年度)	運動・就寝前食事等に関する生活習慣が必要な加入者(20,000名)に対して個別送付を実施した。睡眠改善セミナーの開催し、306名の参加があった。
睡眠不足改善及びメンタルヘルス対策セミナーの開催(令和4年度、令和5年度)	事業所担当者を対象に開催し、令和6年度は224名、令和5年度は374名が参加した。アンケート回答では、90%以上がセミナーに「満足」「やや満足」、セミナー内容について今後、「十分活かせる」「活かせる」と回答。
メンタルヘルス対策に関する事業所実態調査(令和4年度)	問診において、睡眠で休養が取れていないと回答した方が睡眠で休養が取れていると回答している方より、メンタル系疾患発症の可能性が高いことが判明。

健康課題3：新生物・内分泌、栄養及び代謝疾患(入院外(調剤含む))の1人当たり医療費が高い

《 1人当たり医療費の地域差指数－1＊ 》



*地域差指数－1

医療費等の地域差を表す指標として、1人当たり医療費等について年齢調整し、全国平均を0として指数化したもの。
0より大きい数値であれば、全国平均より高い水準にあり、0より小さい数値であれば、全国平均より低い水準にあることを示している。

健康課題3：新生物・内分泌、栄養及び代謝疾患(入院外(調剤含む))の1人当たり医療費が高い

●取組状況

取組名	概要	令和7年度	令和8年度の状況
要治療者及び未治療者への受診勧奨	健診結果（血圧、血糖、脂質）で要治療・要精密検査と判定されながら医療機関を受診していない者に対する受診勧奨を行う。8か月後には、未治療者のうち、より重症域の方への受診勧奨を実施。	【健診当日～翌々月末日】 （文書勧奨） 1,010件 （電話勧奨） 1,425件 【健診から3～4か月後】 （文書勧奨） 1,734件 【健診から8か月後】 （文書勧奨） 5,305件	継続実施
地域フォーミュラリモデル事業分析事業	「地域フォーミュラリモデル事業」を実施している地区の医療レセプト情報を分析し、モデル事業前後の後発医薬品等の使用割合を算出することで、後発医薬品等使用促進に対する、地域フォーミュラリ策定の有効性を明らかにする。	【分析実施地区】 備北地区	【分析実施地区】 備北地区及び竹原地区
バイオシミラー使用促進の取組み	バイオシミラー使用促進のため、医療機関等を訪問する。使用状況等を聴取し、使用促進に必要な取り組みについて意見交換を行う。	【訪問数】 5 医療機関	【訪問数】 9 医療機関